

Nursing Nowキャンペーン「看護の力で健康な社会を！」

公益社団法人日本看護協会と日本看護連盟は、Nursing Nowの趣旨に賛同し、2019年2月より2020年末までの2年間、「看護の力で健康な社会を！」をテーマにNursing Nowキャンペーンに取り組めます。

1. Nursing Nowとは

ナイチンゲール生誕200年となる2020年に向け、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、世界保健機関（WHO）及び国際看護師協会（ICN）の賛同の下、英国のチャリティ団体であるバーデット看護信託が事務局となり、世界的に広まっています。

世界では、保健医療制度や人々のニーズが大きく変化しており、看護職はこの変化への対応が求められています。看護職が変化に対応し、一層活躍するには、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことが重要であり、そのための様々な条件や環境を整える必要があります。**Nursing Now**の掲げる目標は、①看護職の教育・専門職開発・雇用条件等への財源確保、②効果的・革新的な看護実践の普及、③保健医療政策への看護職の影響拡大、④リーダーの職位につく看護職の増加、及び⑤政策実現に向け政策・意思決定者へのエビデンス提供の拡大です。

2. 日本の現状と看護の課題

日本では、少子超高齢社会による人口・疾病構造の変化等を見据え、社会保障制度改革が進められており、医療・ケア・生活が一体化した地域包括ケアシステムへの転換が求められています。看護職には病気や障がいとともに生きる「暮らしの場」の看護、治療や回復のための医療機関での看護、地域住民の健康増進・疾病予防・介護予防をめざす保健活動などの役割があります。これに加え**「生活」と保健・医療・福祉をつなぎ、地域で暮らす全ての人々を支える健康な社会の醸成にも力を発揮することが求められています**。その役割を果たすためには、看護教育の拡充、健康で働き続けられる労働環境の整備、さらには安全で効率的にケアを提供するための看護職の役割拡大も必要です。

3. Nursing Now「看護の力で健康な社会を！」

日本看護協会は、これらの課題解決のための重点政策として、①看護基礎教育制度の改革の推進、②地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、③看護職の働き方改革の推進、④看護職の役割拡大の推進と人材育成、を掲げ取り組んでいます。

Nursing Nowの趣旨は、まさに私たちの取り組みや目指す方向性に合致するものです。地域包括ケアシステムにおいて、看護職がもつ可能性を最大化し、活躍することは、健康な社会の実現につながります。また、多くの看護職が、これまで以上に政策策定や意思決定に参画し、影響を及ぼすためには、リーダー的職位に就くことが不可欠であり、新たな制度の創設や法改正などの政策実現には政治的な力が必要です。**Nursing Now**キャンペーンを国内で展開することで、看護職が一丸となって社会のニーズに取り組む機運としたいと考えています。

看護職がもつ可能性を最大限に活用し、社会に求められる役割を果たせるよう、一人でも多くの皆様の本キャンペーンへのご賛同、ご協力とご支援をお願いいたします。

Nursing Now https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/

Nursing now

看護の力で健康な社会を！



生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会



ベッドサイドから政治を変える！
日本看護連盟
JAPANESE NURSING FEDERATION

